

簿記検定試験初級 出題範囲・内容

1. 簿記の基本原則

(1) 基礎概念

- ・ 資産、負債、および純資産(資本)
- ・ 収益、費用
- ・ 損益計算書と貸借対照表との関係

(2) 取引

- ・ 取引の意義と種類
- ・ 取引の8要素と結合関係

(3) 勘定

- ・ 勘定の意義と分類
- ・ 勘定記入法則
- ・ 仕訳の意義
- ・ 貸借平均の原理

(4) 帳簿

- ・ 主要簿 (仕訳帳と総勘定元帳)
- ・ 補助簿

(5) 証ひょうと伝票

- ・ 証ひょう
- ・ 伝票 (入金、出金、振替の各伝票)
- ・ 伝票の集計・管理

2. 期中取引の処理

- ・ 別に定める勘定科目の範囲で、期中取引の処理 (仕訳等) を行う。

(1) 現金預金

- ・ 現金
- ・ 当座預金、その他の預貯金

(2) 売掛金と買掛金

- ・ 売掛金、買掛金
- ・ クレジット売掛金

(3) その他の債権と債務

- ・ 貸付金、借入金
- ・ 未収入金、未払金
- ・ 前払金、前受金
- ・ 立替金、預り金
- ・ 仮払金、仮受金

(4) 手形

- ・ 振出、受入、支払
- ・ 電子記録債権・電子記録債務

(5) 商品

- ・ 3分(割)法による売買取引の処理
- ・ 仕入および売上の返品

(6) 固定資産

- ・ 有形固定資産の取得
- ・ 有形固定資産の売却(土地のみを対象とする)
- ・ 減価償却(減価償却費は見積額を毎月計上する)

(7) 純資産(資本)

- ・ 資本金(追加元入、引出を含む)

(8) 収益と費用

(消耗品の処理は、支払い時に消耗品費勘定で処理する方法のみに限る)

(9) 税金

- ・ 所得税
- ・ 固定資産税
- ・ 印紙税(「固定資産税など」に含まれていたが初級では明記)
- ・ 消費税(税抜方式に限る)

3. 月次の集計

- ・別に定める勘定科目の範囲での試算表（合計、残高、合計残高）による月次集計を行い、数値を読み取る。

資産総額	負債残高	売上高
現金残高	買掛金残高（未払額）	費用総額
現金の純増加額	資本金（追加元入額）	当月の損益
（当座）預金残高	未払の税額	
売掛金回収額		
売掛金残高（未回収額）		等
商品残高（次期繰越）		
商品仕入高		

●使用する勘定科目

資 産	現金	当座預金	普通預金	定期預金	売掛金
	クレジット売掛金	貸付金	立替金	前払金	未収入金
	受取手形	電子記録債権	繰越商品	備品	車両運搬具
	建物	土地	減価償却累計額	仮払消費税	
負 債	買掛金	借入金	前受金	未払金	預り金
	支払手形	電子記録債務	未払固定資産税	仮受消費税	
純資産（資本）	資本金				
収 益	売上	受取家賃	受取地代	受取手数料	受取利息
	固定資産売却益				
費 用	仕入	発送費	給料	広告宣伝費	支払手数料
	支払利息	旅費交通費	減価償却費	通信費	消耗品費
	水道光熱費	支払家賃	支払地代	保険料	租税公課
	修繕費	雑費	固定資産売却損		